

カセットコーダー

取扱説明書・保証書

お買い上げいただきありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよく読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

TCM-450

© 2004 Sony Corporation Printed in China

保証書とアフターサービス

保証書

- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はご購入日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

品 名	カセットコーダー
型 名	TCM-450
保証書	T02-1

ここに保証書が入ります
Complete the film by inserting the warranty at this position.

在此處插入保証書完成菲林。

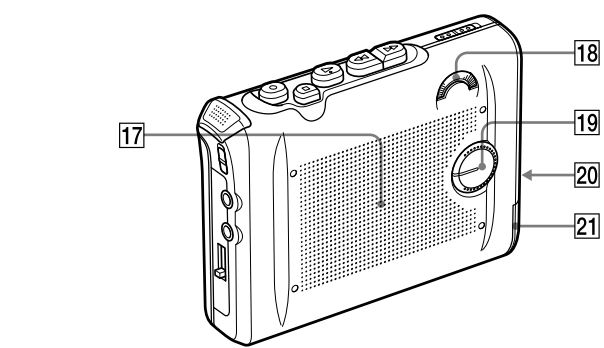
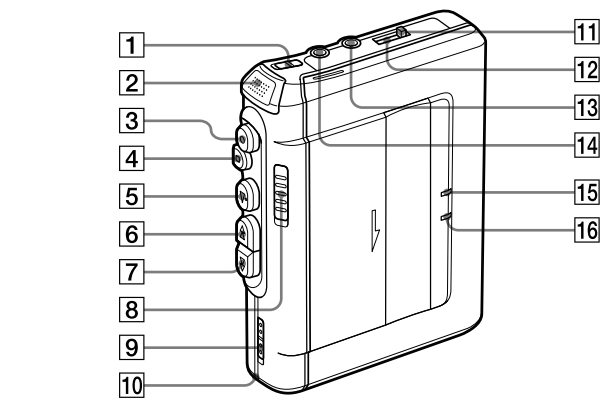
在此位置插入保証书以完成胶片。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- カセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機の 2 倍モード (2.4 cm/s) で録音したテープは、2 倍モードのないテープレコーダーでは正しく再生できません。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

各部のなまえ



- VOR スイッチ
- マイク (内蔵マイク)
- 録音ボタン
- 停止ボタン
- ▶ 再生ボタン *
- ◀◀ 巻戻し／レビューボタン
- ▶▶ 早送り／キューボタン
- 一時停止 → スイッチ
- 標準／2 倍モードスイッチ *
- 「標準」側に凸点があります。
- ハンドストラップ取り付け部
- テープカウンターリセットボタン
- テープカウンター
- イヤホンジャック
- マイク (プラグインパワー) ジャック *
- 録音／電池ランプ
- ⌂ (電池交換) ランプ
- スピーカー
- 音量つまみ *
- 音量「大」の方向に凸点があります。
- スピードコントロールつまみ
- DC IN 3V ジャック
- 電池入れ

* 凸点 (突起) があります。操作の目印としてお使いください。

準備する

乾電池での使いかたを説明します。コンセントでの使いかたは、「電源について」(裏面)をご覧ください。

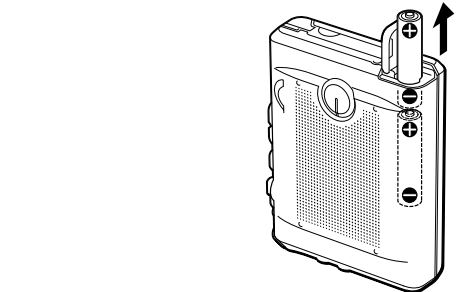
1 乾電池を入れる

- ① 押しながら矢印の方向へずらし、持ち上げる
- ② 単 4 形乾電池 2 本を入れる

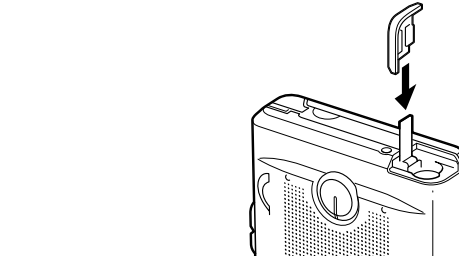
乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をお使いください。

ご注意
新しい乾電池と使用した乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。

乾電池を取り出すときは



電池入れのふたがはずれたときは



録音する

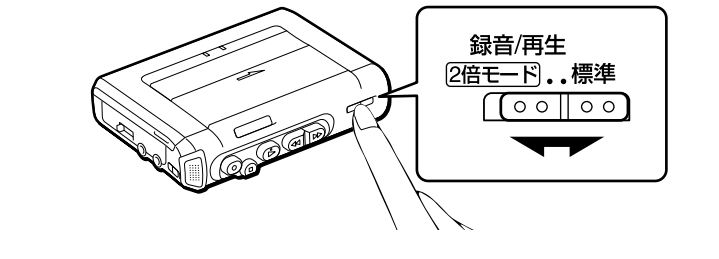
内蔵マイクですぐに録音できます。録音にはノーマルテープ (TYPE I) をお使いください。ハイポジションテープ (TYPE II)、メタルテープ (TYPE IV) では正しく録音できない場合があります。

1 カセットを入れる

- ① 手でふたを開ける
- ② 録音を始める面をふた側にして入れる
- ③ ふたを閉める

2 「標準」または「2 倍モード」を選ぶ

標準／2 倍モードスイッチを「標準」または「2 倍モード」に合わせる

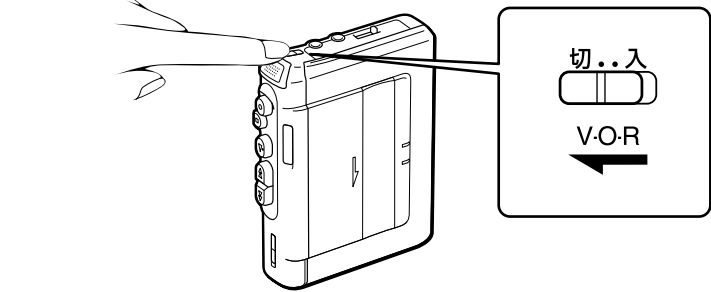


標準： 通常の録音をするとき。
(4.8 cm/s) 「2 倍モード」のときより良い音で録音できます。

2 倍モード： テープ速度を半分にして 2 倍の時間録音をするとき。
会議、口述、メモ録音などに適しています。音楽の録音にはおすすめてできません。(60 分テープを使うと、両面で 120 分間の録音ができます。)

3 VOR (自動音声録音スタート) 機能を「切」にする

ここでは通常の録音のしかたを説明します。VOR スイッチは「切」にしてください。VOR 機能を使って録音する場合は、「録音の便利な機能を使う」(裏面)をご覧ください。



4 録音する

- 録音／電池ランプ
- 録音ボタンを押す
▶ 再生ボタンが同時に押され、録音が始まります。
- 録音中は、音の強弱に合わせて録音／電池ランプの明るさが変わります。
- マイク

テープの終わりまで来ると、自動的に止まります。(オートシャットオフ機能)

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
録音を止める	■ 停止
一時停止する	一時停止 → (録音／電池ランプは消灯する) 一時停止を解除するには、一時停止 → を元に戻す *
カセットを取り出す	■ 停止を押してから、手でふたを開ける

* 一時停止は ■ 停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます (ストップボーズリリース機能)。

テープを聞く

スピーカーから音が聞こえます。
ノーマルテープ (TYPE I) をお使いください。

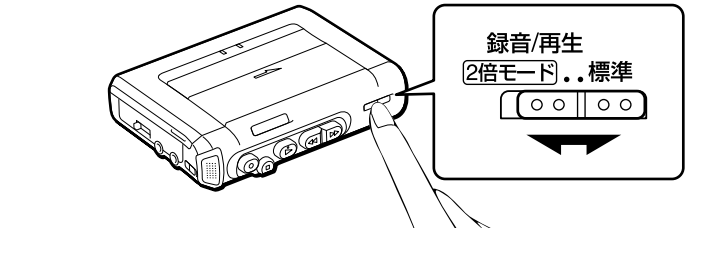
1 カセットを入れる

- ① 手でふたを開ける
- ② 再生を始める面をふた側にして入れる
- ③ ふたを閉める

2 「標準」または「2 倍モード」を選ぶ

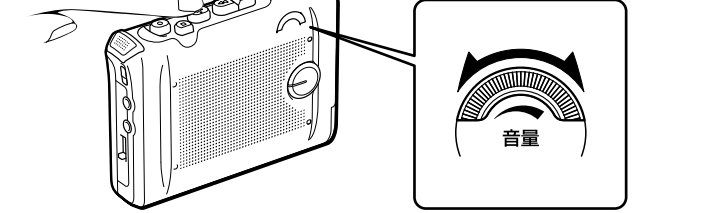
市販の録音済みテープを再生するときは「標準」を選んでください。

標準／2 倍モードスイッチを、録音したときと同じ位置に合わせる



3 再生する

- ① ▶ 再生ボタンを押す
- ② 音量つまみで音量を調節する



テープ速度がおかしいときは、標準／2 倍モードスイッチの位置を確認してください。
テープの終わりまで来ると、自動的に止まります (オートシャットオフ機能)。早送り、巻き戻しをして、テープの終わりまで来たときは必ず、■ 停止ボタンを押してください。

操作	押すボタン、ずらすスイッチ
テープを止める	■ 停止
一時停止する	一時停止 → (録音／電池ランプは消灯する) 一時停止を解除するには、一時停止 → を元に戻す *
早送りする **	停止中に ▶▶ 早送り／キュー
巻き戻す **	停止中に ◀◀ 巻戻し／レビュー
音を聞きながら早送りする (キュー)	再生中に ▶▶ 早送り／キューを押し続ける
音を聞きながら巻き戻す (レビュー)	再生中に ◀◀ 巻戻し／レビューを押し続ける
カセットを取り出す	■ 停止を押してから、手でふたを開ける

* 一時停止は ■ 停止ボタンを押した場合にも自動的に解除されます (ストップボーズリリース機能)。

** 早送り、巻き戻しをしてテープが巻き取られたあとは、必ず ■ 停止ボタンを押してください。そのままにしておくと電池が消耗します。

別売りのイヤーレシーバーをイヤホンジャックに差すと、両耳から聞こえます (音声はモノラルです)。

ご注意
レビューをしてテープの端まで巻き取られたとき、ボタンから指を離しても再生にならないことがあります。そのときは、いったん ■ 停止ボタンを押した後、▶ 再生ボタンを押して、再生を始めてください。

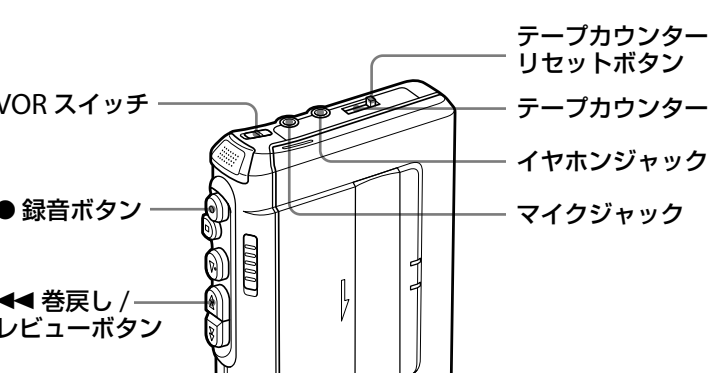
よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。
<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口 フリーダイヤル..... 0120-333-020 携帯電話・PHS 一部のIP電話.. 0466-31-2511	左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に 「3 0 4」+「#」 を押してください。 直接、担当窓口へおつなぎします。
修理相談窓口 フリーダイヤル..... 0120-222-330 携帯電話・PHS 一部のIP電話.. 0466-31-2531 ※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。 FAX (共通) 0120-333-389	

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

▶ 録音するー応用

録音の便利な機能を使う



テープカウンターを使う

録音を始める前に、テープカウンターリセットボタンを押して「000」にします。頭出しに便利です。

音がしたとき自動的に録音を始める (VOR 機能)

VOR スイッチを「入」にして ● 録音ボタンを押します。ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると止まります。録音の途中でテープを止める手間はあはぶけるので口述録音するときに便利です。また、空録音の部分がなくなり、テープが有効に使えます。録音中に VOR スイッチを「入」にすることもできます。

ご注意

- VOR 機能は周囲の環境に左右されます。VOR スイッチを「入」にしても思い通りに録音できないときは、VOR スイッチを「切」にしてください。
- 音を感じてから録音が始まるので、言葉の初めの部分は録音されないことがあります。大切な録音のときは、VOR スイッチを「切」にしてください。

録音中の音を聞く

別売りのイヤーレシーバーをイヤホンジャックにつなぎます。聞こえる音量は一定で、音量つまみで調節することはできません。録音される音の大きさも一定に保たれます。

後追い録音をする

再生中に ● 録音ボタンを押すと、そこから録音状態になります。録音したものの一部分を修正したいときなどに便利です。

録音したものをすぐに聞く (ワンタッチレビュー)

録音中に ◀ 巻戻し / レビューボタンを押すと、押ししている間はテープが巻き戻され、離すとそこから再生が始まります。

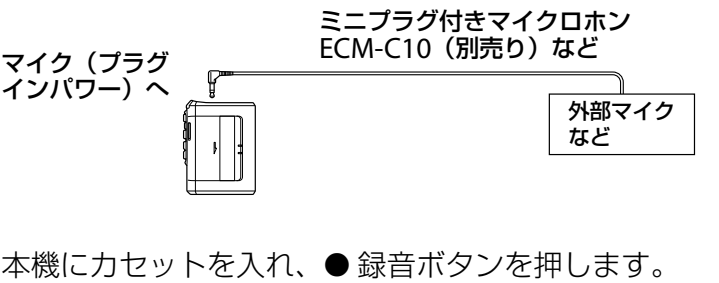
外部マイクや他の機器から録音する

ご注意

録音する前に

- 接続コード類のプラグはしっかり差し込んでください。
- 接続や音量調節の失敗を防ぐため、本番前に試し録音をしてください。
- 外部マイク（別売り）の感度は製品によって異なります。VOR 機能を使う場合、VOR スイッチを「入」にしますが、思い通りに録音できないときは「切」にしてください。
- 下記の接続例ではソニー製品を使用しています。他社製品との接続がうまくいかないときは、その製品の説明書をご覧ください。

外部マイク（別売り）から録音する
マイクジャックにプラグをしっかり差し込むと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。プラグインパワー対応のマイクをつなぐと、マイクの電源は本機から供給されます。



本機にカセットを入れ、● 録音ボタンを押します。

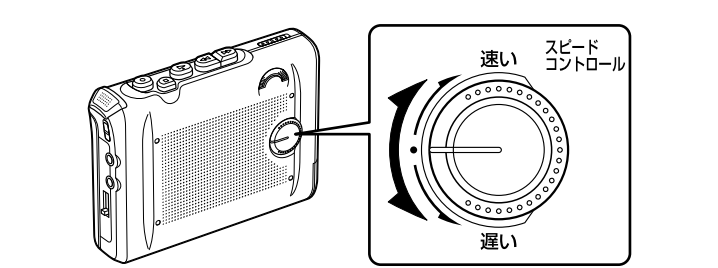
他の機器から録音する



- 1 本機にカセットを入れます。
- 2 録音する音を他の機器から出し、聞きやすい音量にします。(テレビやラジオの REC OUT や ㊚ ジャックなどから録音するときは、他の機器で音量を変えても録音には影響しません。)
- 3 本機の ● 録音ボタンを押します。

▶ テープを聞くー応用

再生スピードを調節する



スピードコントロールつまみを次のように調節してください。

再生速度	つまみの位置
速く再生する	速い
通常で再生する	中央
ゆっくり再生する	遅い

▶ 電源について

電池を交換する時期

電池が消耗すると、テープ走行が不安定になったり雑音が多くなります。再生 / 録音中に録音 / 電池ランプが暗くなり、㊚（電池交換）ランプが点滅したら、乾電池を 2 本とも同じ種類の新しいものと交換してください。

録音 / 電池	録音 / 電池ランプが明るく点灯	残量は充分です。
録音 / 電池	録音 / 電池ランプが暗く点灯	残量が少なくなってきました。
㊚	㊚（電池交換）ランプが点滅	乾電池を交換してください。

ご注意

- ㊚ ランプが点滅し始めても、しばらくはテープが正常に動きますが、スピーカーから大きな雑音が出たり正しく録音されていないことがありますので、必ず乾電池を交換してください。
- 次のような場合には電池を交換する必要はありません。
 - 再生中に音量を上げたときなどに ㊚ ランプが音に依じて一時的にちらついた場合。
 - テープの動きはじめやテープの終わりで、㊚ ランプが瞬間的に点灯した場合。
 - 早送り・巻き戻し、またはキュー・レビュー中に ㊚ ランプが点滅した場合。

電池の持続時間 *

使用電池	録音時	再生時
ソニーアルカリ乾電池 LR03 (SG) ** 使用時	約 15 時間	約 8 時間
ソニーマンガン乾電池 R03 (SB) 使用時	約 5 時間	約 2 時間

* 電子情報技術産業協会 (JEITA) 規格による測定値です。(ソニー HF シリーズカセットテープ使用、音量 7 分目程度でミュージックテープをスピーカーで再生した場合。)
** 日本製ソニーアルカリ乾電池 LR03 (SG) で測定しています。

乾電池は別売りのソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

ご注意

- 電池持続時間は周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなる場合があります。

コンセントにつないで使う

- 1 AC パワーアダプター（別売り）を本体の DC IN 3V ジャックにつなぎます。
- 2 AC パワーアダプターをコンセントにつなぎます。

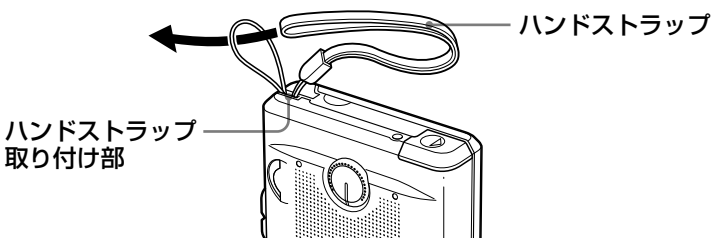
ご注意

- この製品には、別売りの AC パワーアダプター AC-E30L（極性統一形プラグ・JEITA 規格）をご使用ください。上記以外の AC パワーアダプターを使用すると、故障の原因になることがあります。
- AC パワーアダプターは、容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。

▶ その他

ハンドストラップ（市販品）を使う

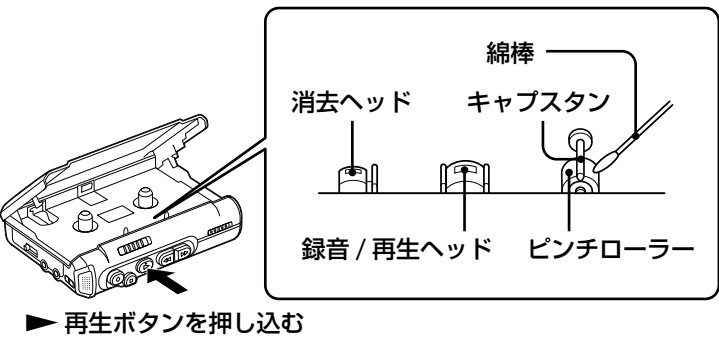
持ち運びに便利のようにハンドストラップ（市販品）を取り付けることができます。



お手入れ

よい音で聞くために

10 時間程度使ったら、市販のクリーニング液でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーを綿棒などできれいにしてください。



本体表面が汚れたときは

水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

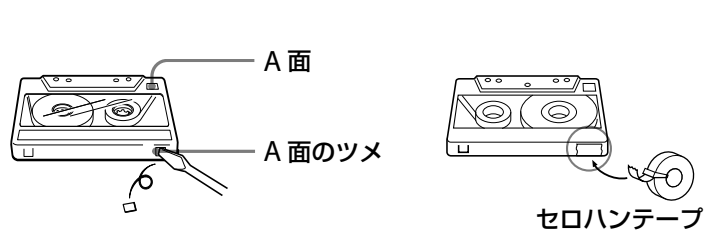
使用上のご注意

録音について

- 録音には、必ずノーマルテープ (TYPE I) をお使いください。(ハイポジション / メタルテープでは正しく録音できないことがあります。)
- マイクジャックに外部マイクや接続コードが差し込まれていると、内蔵マイクを使っでの録音はできません。
- 録音中の音をイヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーの音をマイクが拾い、ビーという音が生じることがあります (ハウリング現象)。この場合はイヤーレシーバーははずしてください。
- 録音中、マイクを電灯線や蛍光灯に近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中はスピーカーから音は出ません。別売りのイヤーレシーバーで聞いてください。

大切な録音を守るには

カセットのツメを折ります。ツメを折ると録音状態にできなくなるので録音した音声を誤って消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をふさぐと再び録音できます。



取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内 (特に夏季)。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。
- 長時間テープについて
90 分をこえるテープはなるべくお使いにならないでください。テープが非常に薄いため、動作が不安定になって音がゆれたり、まれに機械に巻き込まれる場合があります。また、音が小さかったり、高音ののびが悪くなることがあります。
- エンドレスカセットテープについて
エンドレスカセットテープはお使いにならないでください。機械に巻き込まれる場合があります。
- 長い間本機を使わなかったときは、再びお使いになる前に、数分間再生状態にして空回しをしてください。良い状態でお使いいただけます。

キャッシュカードや定期券などで、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気に変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

故障かな？

修理に出す前にもう一度お調べください。ご不明な点があるときはソニーの相談窓口へお問い合わせください。

症状	原因 / 処置
カセットが入らない。	● カセットの向きが正しくない。
カセットぶたが開まらない。	● ▶ 再生ボタンが押し込まれている。
操作ボタンを押しても動作しない。	● 乾電池の ⊕ と ⊖ の向きが正しくない。 → 向きを確認して入れなおす。
	● 乾電池が消耗している。 → 2 本とも新しいものと交換する *。
	● 一時停止 ➡ スイッチが矢印の方向へずらされている。
	● AC パワーアダプターが正しく接続されていない。
	● AC パワーアダプターやカーバッテリーコードが本体に差したままになっている。 → 乾電池使用時には本体から抜く。

症状	原因 / 処置
録音できない。	● カセットが入っていない。
	● カセットのツメが折れている。 → 録音内容を消す場合は穴をふさぐ。
	● 乾電池が消耗している。 → 2 本とも新しいものと交換する *。
録音が途中で止まる。	● VOR が働いている。VOR を使用しないときは、スイッチを「切」にする。
前の音が完全には消えない。	● 消去ヘッドが汚れている。 → クリーニングする。
	● ハイポジションまたはメタルテープを使っている。
再生できない。	● テープが終わりまで巻き取られていない。
スピーカーから音が出ない。	● イヤーレシーバーが差し込まれていない。
	● 音量が最小になっている。
音が小さい。	● 音量が最小になっている。
音質がよくない。	● 乾電池が消耗している。 → 2 本とも新しいものと交換する *。
雑音が入る。	● ヘッドが汚れている。 → クリーニングする。
	● カセットテープをスピーカーの上に直接置いたため、テープが磁化されて音質が劣化した。
	● ハイポジションまたはメタルテープを使っている。
	● 近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している。 → 携帯電話などから離して使用する。
再生速度が速すぎたり、遅すぎたりする。	● スピードコントロールつまみが中央以外の位置にある。 → 中央にする。
再生音がおかしい。	● 標準 / 2 倍モードスイッチの位置が、録音時と違う位置にある。 → 反対側に切り換える。
	● 電池が消耗している。 → 2 本とも新しいものと交換する *。
早送りや巻き戻しをして、テープがはしまで巻き取られたあとにカタカタと音がする。	● 停止状態になっていない。 → ▶ 停止ボタンを押す。

* 乾電池は、2 本とも同じ種類の新しいものと交換してください。

主な仕様

トラック方式	コンパクトカセットモノラル
スピーカー	直径 36 mm
テープ速度	4.8 cm/s、2.4 cm/s
周波数範囲 *1	TYPE I (ノーマル) カセット 250 Hz ~ 6,300 Hz (標準 / 2 倍モードスイッチ「標準」時)
入力端子	マイク (ミニジャック / モノラル) (プラグインパワー対応) (1) 最小入力レベル 0.2 mV
出力端子	インピーダンス 3 kΩ 以下のマイク用 イヤホン (ミニジャック / モノラル) (1)
実用最大出力 *1	負荷インピーダンス 8 Ω ~ 300 Ω のイヤホン用 450 mW (DC 時)
スピードコントロール	可変範囲 約 + 30 % ~ 約 - 20 % (標準 / 2 倍モードスイッチ「標準」時)
電源	DC 3 V、単 4 形乾電池 2 本使用
最大外形寸法 *1	約 86.3 mm × 113.4 mm × 28.9 mm (幅 / 高さ / 奥行き) 最大突起部含む
質量	本体 約 173 g ご使用時 約 229 g (乾電池 R03 (SB) 2 本、カセットテープ C-60HF を含む)
付属品	ソニーマンガン乾電池 (単 4 形) R03 (SB) (2) (お試用 *2) キャリングポーチ (1) 取扱説明書・保証書 (1)
別売りアクセサリ	ソニーご相談窓口のご案内 (1) AC パワーアダプター AC-E30L (極性統一形プラグ・JEITA 規格) タイピン型マイク ECM-C10 など 接続コード RK-G64 ステレオイヤーレシーバー MDR-EX10LP

*1 電子情報技術産業協会 (JEITA) 規格による測定値です。
*2 付属のマンガン乾電池はお試用です。購入する場合にはソニーアルカリ乾電池をおすすめします。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。